

金鷹山

令和3年(2021)12月1日発刊
通巻第13号

発行所 若宮八幡社社務所
〒873-0004
大分県杵築市大字宮司336番地
発行者 宮司 紀田兼宣
電話 080(5503)3488

金鷹山 若宮八幡社

神社公式ホームページ開設しております。御覧ください。

祝祭日には国旗を掲揚致しましょう



御座船「八幡丸」(杵築市に寄託)

祭事の 予告

十二月四日(土)・五日(日)

例大祭

神賑行事 池坊別府中央支部奉納 生け花展示

感染症が未だ終息の見えない現況を鑑みまして、昨年度に続き神輿の渡御(お下り・お上り)は中止として、本年度は本殿に於ける神事のみ執り行います

※例大祭の詳細は2頁をご覧ください

若宮八幡社 祈願祭・出向祭承りについて

公式HPは で検索下さい

《祈願祭》若宮八幡社の社頭にて行います

- ・初宮詣・安産・子授け・七五三・厄除け・車の交通安全
- ・受験合格・赤ちゃんの名付け

《出向祭》宮司が伺い御地で奉仕申し上げます

- ・地鎮祭・上棟祭・井戸昇神祭・入居前清祓・竣工清祓
- ・神葬祭(神道でのお葬式)ほか

アクセスマップ



例大祭のお知らせ

感染症対策により本殿に於ける神事のみ執り行います
神賑 池坊別府中央支部奉納 生け花展示

【例大祭】

十二月四日(土)午前十一時

杵築市民の安寧と感染症の終息を祈念します

【斗初穂奉納奉告祭】

十二月五日(日)午後二時

斗初穂奉納者の奉告を行います

【御鎮祭】

十二月五日(日)午後三時

例大祭が無事に行われたことに感謝します

【神賑 池坊別府中央支部奉納 生け花展示】

十二月四日(土)・五日(日) 拝観自由

尚、昨年度に続き神輿のお下り・お上り、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、みさき神楽、長寿老人交通安全祈願祭は行いません
※お越しの時にはマスクを着用下さい また37.5度以上の熱がある場合は参拝をお控え下さい



池坊別府中央支部奉納 生花展



神徳は炳らかにして遍く六合を平らく



萬姓は豊饒にして泰平なるを喜び

年越大祓のお知らせ

令和三年を振り返り罪や穢れを祓い遣って清々しいお正月をお迎えにありませんか？

半年間のうちに知らないうちに犯してしまつた罪や穢れを、人形に託して清々しいお気持ちで令和四年の正月をお迎えにありませんか？

前回は六月三十日に夏越大祓を執り行い、上半期の罪や穢れを祓い遣りました。

この大祓は、半年に二回執り行われているもので、感染症のことをはじめ、皆様方それぞれ令和三年を振り返ってみると色々なことがありになることと思います。

人生は山あり、谷あり、毎日が喜怒哀楽の連続です。人は生きていくためには毎日命あり。

令和四年正月初詣

令和四年の正月が近づいて参りました。

若宮八幡社におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、様々な予防対策を行いながら、初詣受け入れの諸準備を取り進めております。

【授与所】

各種のお守り・お札・おみくじ・縁起物などをご用意しております。神宮大麻をはじめ、氏神様のお神札などは、年間を通じて『納札所』を設営しておりますので、参拝の折りにご持参の上お納め下さい。当社にてお清めの上、忌み火でお焚き上げを厳修致します。

【御祈願】

赤ちゃんの初宮詣・家内安全・厄難消除・無病息災・悪疫退散・交通安全・商売繁盛・企業会社の年頭初詣ほか年間を通じて承ります。

【年越大祓】

十二月三十一日(金)午後三時

参列自由・予約不要

尚、茅の輪くぐりは「夏越大祓」のみ行いますので、年越大祓では茅の輪くぐりはありません

感染症予防対策を行いながら授与所・御祈願・出向祭を厳修致します

《令和四年の本厄除》数え年

●男性

- 二十五歳(平成十年生)
- 四十二歳(昭和五十六年生)
- 六十二歳(昭和三十七年生)

●女性

- 十九歳(平成十六年生)
- 三十三歳(平成二年生)
- 三十七歳(昭和六十一年生)

【出向祭】

地鎮祭・上棟祭・井戸昇神祭・入居前清祓・竣工清祓・屋敷祭・神葬祭(神道でのお葬式)ほか宮司が御地にお伺い申し上げ、神事を齋行致します。

御祈願及び出向祭につきましては、宮司一人での奉仕です。事前のご予約をお願い致します。

紀田宮司携帯電話

0801550313488

若宮八幡社固定電話

0978(62)3148



花手水



感染症対策を講じた授与所

若宮八幡社で所蔵する指定文化財

大分県無形民俗文化財・杵築市指定文化財をご紹介します
(詳細は公式ホームページに掲載しておりますのでご覧ください)

【若宮八幡社の境内林】

約二万三千㎡に亘り常緑広葉樹に覆われ、また高木層、亜高木層、低木層と階層構造がはつきりしており、自然が保たれております。

元宮で中区に鎮座する若八幡本社から、今の地に遷座(神さまの引越し)する際に、金色の鷹が舞い降りた故事により、『金鷹山』と称しておりますが、ここ数年来孟宗竹が侵食しており、『金鷹山天然

林保存会』を結成し、当社総代と地元宮司区の方と共に、竹の伐採を行って戴いております。洵に有難い限りであります。

【御田植祭】

四月六日の祈年祭に併せて奉納される稲作の予祝儀礼。

【若宮楽】

九月の仲秋祭に併せて奉納される楽打ち神事。

【旭に波図】

十市石谷画 製作年不詳
【石造物群】下記2点を抜粋

①百段石奉納記念碑

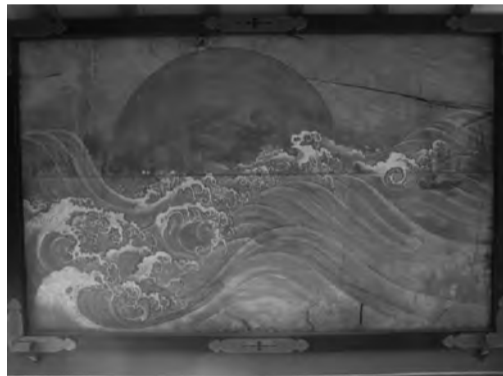
現存する百段石を、元禄六年(西暦1693年)に、「松野尾村御前座」の歌舞伎集団を中心とする約三百人の講中の寄進です。

②石畳敷設奉納記念碑

一の鳥居から続く石畳を、享和三年(西暦1803年)に馬場尾村の銚田平右衛門らにより寄進されたもので、杵築歌舞伎の隆昌と信仰の篤さが偲べれます。



社叢 金鷹山遠望



旭に波図



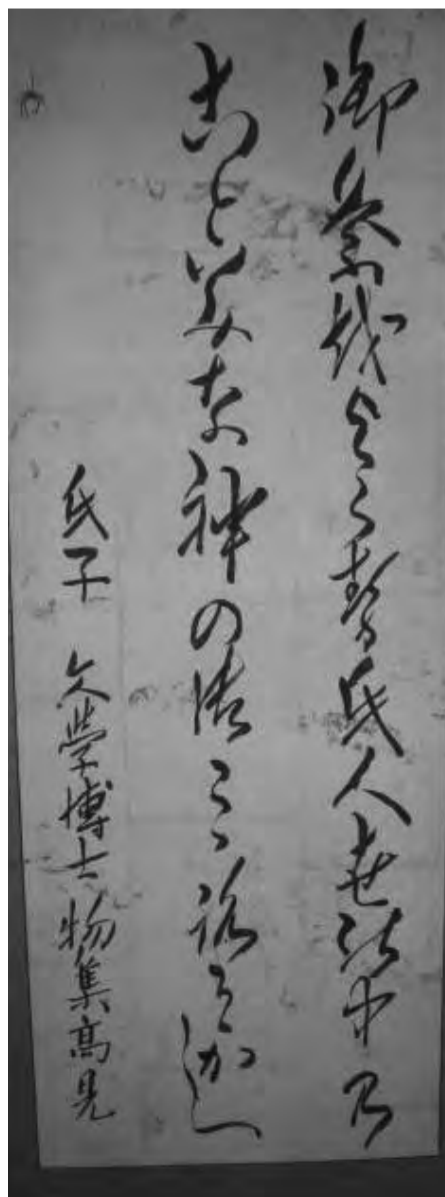
金鷹山天然林保存会の皆様



若宮楽



御田植祭



物集高見揮毫和歌の掛軸

御祭りを良く勢氏人世の中のこと皆神の御心ぞかし
右の和歌は、国学者物集高見の歌で、当社に揮毫の掛軸が保存されており、また参道

の石畳横にはこの和歌を顕彰の石碑に刻して建立されている。これは、常日頃からお祭りを厳修することで、神様の御神徳が益々発揚されること

を意味している。高見は、山形県の出羽三山神社の宮司として三年余り任地に赴いており、将来出羽三山神社に伺い高見の足跡を調査してみたい。



石畳敷設奉納記念碑



元禄六年奉納 百段石



享和三年奉納 石畳



百段石奉納記念碑

『斗初穂』 奉納を承ります

完納の方には例大祭にご案内致します
芳名を芳名石板に刻んで永遠に顕彰

永年の風雨により傷みの著しい拝殿屋根
庇の修繕を行いました。何分にも神社の自
己資金は覚束ない状況であり、昔から若宮八
幡社では、『斗初穂』奉納の制度を取り進め
てきました。

新たにクラウドファンディングを取り進め
ようかという提案もありましたが、若宮八幡
社では先人の叡智である『斗初穂』奉納を引
き続き承ることにより、神社の特別な会計
を積み立てていく方針と致しました。

【斗初穂 とは?】

若宮八幡社では、昔からお米(初穂)を氏
子さんから壹斗(十升)を十年かけて奉納を
承っております。

現在では、お米壹斗(十升)を三千元に換
算して、その三千元に十年を乗じた3万円で
完納としております。

斗初穂(3万円)を完納された方には、ご
案内申し上げます、十二月の例大祭にてご報告
申し上げます。

●募金額

三千元を一口としてお納め下さい。



昨年は申殿床を修繕しました

十口(3万円)以上の方は、『斗初穂完納』
としてお名前を参道の斗初穂銘板に刻み、永
遠に顕彰致します。

この斗初穂奉納は、

①十年間で完納する方法

②複数年で完納する方法

③一括で完納する方法

の3種類がありますので、申し込みの時点で、
①②③のいずれかをお選び下さい。

杵築市民のみならず、若宮八幡社を崇敬さ
れる方ならどなたでも申し込みができます。

●募金対応

芳名につきましては、社報『金鷹山』で随時
掲載の上、ご報告申し上げます。

この斗初穂会計は、今回の拝殿の屋根修
繕はもちろんのこと、来る御鎮座壹千五拾
年記念事業(令和十七年度予定)に向けての
特別な出費のために有効活用させて頂くも
のであります。

《斗初穂 照会先》

若宮八幡社社務所 0978(62)3148
(紀田宮司も常駐してお待ちしております)



最新の斗初穂芳名石板

編集後記

御代替りに植樹した『招霊の木』大きく生長する

▲上皇陛下におかれましては、今まで歴代天皇の中で最
高齢だった昭和天皇の長寿
記録を更新され、今年の十
二月二十三日(木)には八十
八歳となられ米寿をお迎え
になられることを寿ぎ、当社
でも吉例にて上皇陛下祭を
斎行致します。▲日本書紀
には神武天皇など百歳を超
える天皇も記されているが、
文字や暦の定着具合などが
ら、生没年が正確と考えら
れるのは飛鳥時代の推古天
皇頃かららしい。▲昭和天皇
実録によると、昭和天皇が
後水尾天皇と並んで当時最
高齢となった昭和六十年七
月十二日には、後の香淳皇后
と側近約二十人と共に鰻重
を召し上がってお祝いされた
お話しも漏れ承る。▲上皇
陛下は昭和八年昭和天皇の
ご長男として生誕され、昭
和天皇の崩御に伴いご即位。
▲その後国民と共に平成の

御代を歩まれ、平成三十二年
四月三十日に譲位されまし
た。▲譲位後は全てのご公務
から退かれ、現在は皇太子時
代からのライフワークであ
る『ハゼ』の研究を続けられ
ながら東京都港区高輪の仙
洞仮御所で、上皇后陛下と
静かな日々を送られており、
国民の一人としていつまでも
お元気であられますよう祈
念する次第である。▲令和
元年五月一日に、『平成』から
『令和』へと御代替りとなり、
一連のご即位行事も恙無く
取り納められたこと洵に慶
賀の至りに存じ上げるばか
りであります。▲左の写真は
令和の御大典を寿ぎ、二年
前に御垣内に植樹した『招
霊の木(おがたまのき)』です。

▲招霊の木は、古事記の中で、
天岩戸神話の件で、岩戸の中
に籠られた天照大神を外に
誘い出すために、天宇受賣命
が手に取って一所懸命に踊つ
たとされる由緒ある樹木で
す。▲植樹の時は僅か十五cm
程度の苗木でしたが、二年余
りのうちに今は凡そ三呎に
まで生長しました。▲本年は、
当社が大正十年(西暦19
21年)に『県社』に御列格
されてより百年であること
を寿ぎ、十一月二十三日(火・
勤労感謝の日)まで『令和の
御大典 写真・パネル展』を
開催中です。▲戦前まで
は、神社の格付けが為されて
おり、『県社』とは県知事か
ら幣饗料が供された神社の
ことで、杵築市内では、奈多
八幡宮と山香の八幡神社と
若宮八幡社の三社のみでし
た。▲来年は御代替りより
三年となり、当社に於きま
しても奉祝の行事を出来れ
ばと考えながら年末の神勤
奉仕に勤しみたく思います。
▲皆様方も神様の御徳を戴
かれ健けく令和四年をお迎
えください。



御垣内に植樹した招霊の木